令和８年第６回定例会一般質問通告事項

	冠　　匡　晃 議員（潮風おのみち）	質問方式：一問一答方式
12月3日	1　自動車を運転できない市民の移動手段の確保について （1）自動車を運転できない市民が置かれている現状を、市長はどのように認識しているのか （2）今後さらなる高齢化が進む中、現在の公共交通の体制で市民の生活を守ることができると考えているのか （3）自宅までの送迎が可能で、希望する時間帯に予約でき、高齢者に限らず誰もが気軽に利用できるデマンド型乗合タクシーを、市が財政的な責任を持って導入する考えはないか 2　尾道市政は民主主義に則り、市民のための政治が行われているか （1）約20年に及ぶ平谷市政について （2）市長が理事長を務める一般社団法人しまなみジャパンへの7,000万円の補助金について ア　そもそも、この7,000万円は、しまなみジャパンが得た収益を一旦市に寄付させ、再び補助金として同団体に交付したものです。なぜ、このような手続きが必要だったのでしょうか イ　一般の市民や事業者に対する補助金についても、このようなずさんな手続きや管理が許されるのでしょうか ウ　市長は、自らが理事長を務める団体へのこの補助金の交付及び使途が適正であったとお考えでしょうか エ　改めて補助金の使途を精査し、不適切な支出については返還を求めるべきと考えますが、市長の見解を伺います （3）上下水道事業管理者による談合事件について ア　先般の上下水道事業管理者による談合事件に対し、第三者委員会の設置を拒否した理由をお聞かせください 3　死亡例を含む、重篤な副反応疑いが報告されている尾道市の予防接種事業について	

12 月 3 日	(1) 接種後の死亡報告や健康被害に苦しむ方々の実態を、一人でも多くの市民に知らせること。 そして、病気そのもののリスク、接種によって得られる利益、副反応のリスクを十分に理解した上で、自分や大切な家族にとって本当に必要な接種なのか、改めて考えていただくよう呼び掛けることが、地方自治体としてやるべきことではないでしょうか (2) 平谷市長の在任中の予防接種事業における反省点、改善すべき点を挙げてください (3) 市長からは、健康被害を受けた方々やご遺族に対し、お見舞いやお悔やみの言葉はありましたが、なぜ謝罪の言葉は一度もないのでしょうか。 副反応のリスクを十分に知らされず、病気のリスクとの比較材料も与えられないまま接種を勧められた被害者やご遺族は、「騙された。元の体に戻してほしい。家族を返してほしい」と訴えています。 本市の予防接種事業の最高責任者として、市長にはまず謝罪し、どのような形で責任を取るのか、説明を求めます